

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【経済産業省】

施策番号	27008	施策名		幹細胞実用化に向けた評価基盤技術開発プロジェクト			
新規／継続	新規	領域	ライフ・イノベーション	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	
競争的資金		e-Rad	○	社会還元	再生医療		
施策の目的及び概要	iPS細胞を含む各種幹細胞に関し、その安全性等の品質の評価技術が十分確立されていないことが再生医療等の産業化への大きな障害となっている。このため、品質評価技術を開発することにより、幹細胞を利用した再生医療等の実現を目指す。併せて、開発した品質評価技術の国際標準化に向けた取組を進めつつ、我が国の再生医療関連製品の国際競争力の確保を目指す。						
達成目標及び達成期限	平成27年度末までに、幹細胞の品質を評価する技術を開発することを目標とする。また、知的財産戦略本部が策定する方針に基づき、関係省庁が連携して評価基準の国際標準化に取り組む。						
研究開発目標及び達成期限	<ul style="list-style-type: none"> ・網羅的な細胞表面糖鎖修飾解析に必要なレクチンアレイ技術を確立する(2012年度) ・細胞表面糖鎖等幹細胞評価指標の中から、必要な因子のみを抽出し、幹細胞品質評価チップの開発に着手。(2013年度) ・幹細胞品質評価チップの妥当性を検証。(2014年度) ・幹細胞品質評価チップ測定装置を開発(2015年度) 						
23年度の研究開発目標	<ul style="list-style-type: none"> ・網羅的な細胞表面糖鎖修飾解析に必要な要素技術の開発に着手する。 ・幹細胞評価指標、培養法、分化指向性情報等」を格納可能なデータシステムの構築に着手する。 						
施策の重要性	iPS細胞等の幹細胞は、がん化のしやすさや細胞の増えやすさ、目的細胞への分化のしやすさに大きな差があることが分かっており、再生医療等に産業利用するためには、これらを実用化する技術が必要である。本事業では、幹細胞の品質を評価する技術・装置を開発し、実用化を目指すものであり、再生医療の実用化を促進する上で重要な施策である。						
実施体制	研究開発主体は公募により決定し、産学官連携体制を構築予定。民間側では産業利用を見据えた簡便かつ低コストな品質評価技術開発を実施し、国際標準化を目指し製薬企業で構成されるユーザーフォーラムの参画を想定。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
—				1,340			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				NEDO			
H23概算要求額の内訳	— 事業費 1,313百万円 研究開発管理費 27百万円						
期間	H23～H27			資金投入規模(億円)		67	
これまでの成果(継続のみ)	—						
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	—						
昨年度優先度判定(継続のみ)	—		優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)		—		

み)		
国民との科学・技術対 話推進への対応(対象 施策のみ)	アウトリーチ活動実施の具体化に向け検討中	